

市民による行政評価制度

「市民行政アセス」を行いました



市民評価会議のようす

市は、実施している施策や事務事業の評価を行い、継続的に事務の改善を進めています。

行政活動の評価に市民の皆さんの意見を取り入れ、評価の客観性・信頼性を高めるとともに、事業などの改善・見直しにつなげるため、今年度から「市民による行政評価」を行っています。

今月の焦点は、新たに始まった評価の取組についてお知らせします。

1

「市民行政アセス」って？

行政評価とは、市が実施している施策や事務事業について、指標などを用いて有効性や効率性などを点検・評価するものです。行政評価の実施により、事業を行ううえでの問題点や課題をチェックし、改善につなげていきます。市は、平成13年度から行政評価を導入し、これまで市職員による内部評価を行ってきました。今年度から、評価の客観性・透明性を確保し、効率的な行政運営を推進するため、市民の視点で市の施策や事業の評価を行う、「市民による行政評価制度」「市民行政アセス」を行いました(※)。

※平成24、25年度の2年間を試行期間とし、平成26年度に本格導入します。

2

だれが評価するの？

学識経験者や住民の意見を代表する方など、市民5人の委員と、アドバイザー1人により、6月～8月に計7回の市民評価会議を開催しました。

会議では、勉強会や担当課へのヒアリングなどを行い、評価報告書をまとめました。



報告書を提出する委員の皆さん

市民評価会議の活動スケジュール

- 6月22日 依頼状の交付概要説明など
- 7月3日 事業内容などの勉強会
- 7月10日 担当課へのヒアリング、評価のまとめ
- 7月17日 担当課へのヒアリング、評価のまとめ
- 7月24日 報告書の確認
- 7月31日 報告書の提出
- 8月7日 報告書の確認
- 9月20日 報告書の提出

3

なにを評価するの？

市のまちづくりの指針である「千歳市第6期総合計画(計画期間・平成23年度～32年度)」に掲げる施策を評価の対象としています。今年度は、つぎの7施策を対象として、それぞれの施策について「事業の内容」と「市が行った評価の記載内容」の評価を行いました。

評価した施策

- …つぎの7施策を評価しました
- 雪に強い生活環境の充実
- 児童福祉の充実
- 教育活動の充実
- 学びあえる仕組みづくりの推進
- 教育相談・指導の充実
- 公共交通の機能の充実
- 防災対策の充実

4

どんな評価だったの？

7施策のうち、3施策の結果を紹介します

- 雪に強い生活環境の充実
 - …実施しているおもな事業…
 - ▼ 冬期間の道路の除雪排雪作業、地域の除雪排雪体制(パートナーシップ)除雪排雪支援制度(づくりなど)

● 学びあえる仕組みづくりの推進

- …実施しているおもな事業…
- ▼ 「千歳学出前講座」や「ふるさとポケット」などの支援、生涯学習活動の支援など



…市民評価会議の評価結果…

- ▼ 市民協働・市民コミュニティ・ネットワークづくりを進めるうえで重要な施策であるため、今後の事業展開は、さらに拡大するべきと評価します
- ▼ 「千歳学出前講座」や「ふるさとポケット」など、現在行っている事業について、市民ニーズの把握や質の向上、新しい企画の展開などを期待します



● 防災対策の充実

- …実施しているおもな事業…
- ▼ 地域防災計画の策定・見直し、自主防災組織の育成、防災学習交流施設の管理運営など



…市民評価会議の評価結果…

- ▼ 市民の防災に対する現在の高い意識が、5年後、10年後も維持されるような働きかけを実施するため、さらに事業を拡大するべきと評価します
- ▼ 千歳は防災学習交流施設など、ハード面で恵まれており、今後は、自主防災組織の拡充など、ソフト面で充実することを期待します



市民評価会議 会長 石田 宏司 氏

担当課からのヒアリングを通じて、市が特色ある事業を行っていること、また多くの事業が担当課の努力により目標通りの成果を上げることがよく理解できました。しかし、市が行った評価の記載からは、事業内容や成果のポイントが読み取れない部分が多々ありました。市民の皆さんが評価表を見たときに、その概要が理解しやすいようなものになるよう、記載表現などの工夫を期待したいと思います。

焦点記事のお問い合わせ
企画部企画課行政評価係
☎(24)0442

※具体的な評価内容は、つぎの場所で公表しています。ぜひご覧ください。
【公表場所】 市役所2階市政情報コーナー、各支所
千歳駅市民サービスセンター、図書館、市のホームページ